



第3回 かながわ難病リハビリテーション研修 重度身体障害者に対するコミュニケーション支援



進行性疾患では、時としてコミュニケーション能力に障害をきたすことがあります。そのような時、＜当事者が伝えたいこと＞を＜どうすれば受け取ることができる＞のか、悩まれている方も多いのではないのでしょうか？本研修は『コミュニケーションを支援する』をテーマに、＜“伝えたい当事者”の生の声＞と＜リハビリテーションにおける支援の実践・事例紹介＞により、コミュニケーションの取り方、そしてあり方を学ぶことを目的としています。またその手助けとなる最新のコミュニケーション支援機器の展示も行います。＜支援を受ける側＞の当事者やそのご家族、＜支援をする側＞の看護師・リハ職などの医療職や介護福祉士・ケアマネージャーなどの福祉職、その他ボランティアや学生など、支援にかかわるすべての方が対象です。

日 時 令和元年11月17日(日)
10:00～17:30 (受付:9:30～)

参加費 4,000円 (当日受付にて)

定員 60名 (定員に達し次第申し込み終了と致します)

会場 国際医療福祉大学 小田原キャンパス 物理療法室
(裏面の地図をご確認ください)

プログラム(予定※プログラムはやむなく変更する場合があります。随時HPでご確認下さい。)

- 10:00～10:30 「進行性疾患のコミュニケーション」総論 (訪問R-station 作業療法士 西森太郎氏)
- 10:30～12:00 「目は口ほどにものを言う」透明文字盤のすすめ (吉野内科神経内科医院 言語聴覚士 山本直史氏)
- 12:50～13:30 事例報告「想いをつなぐ、想いを形に～コミュニケーション評価と実践事例～」
(鶴巻温泉病院 作業療法士 及川明穂氏)
- 13:30～15:40 機器展示～伝の心・マイトビーI-15・TCスキャン・話想・miyasuku EyeConSW・OriHime(+分身ロボット)・ipad・AMAneo®BTi・MOMO・Zono・ペチャラ・eeyes・各種スイッチ・透明文字盤 等～
- 15:40～16:10 制度について (神奈川県立総合療育相談センター 作業療法士 大野憲子氏)
- 16:20～17:00 当事者講演「家族に頼らない僕らしい暮らしの為に」
(日本ALS協会 神奈川県支部 役員 尊厳生☆応援団 増田潤氏)
- 17:00～17:30 交流会(自由参加)



申込方法

ホームページ・メール・FAXにて受付いたします

Homepage : <http://knrid2017.jimdo.com>

Mail : knrid2017@gmail.com

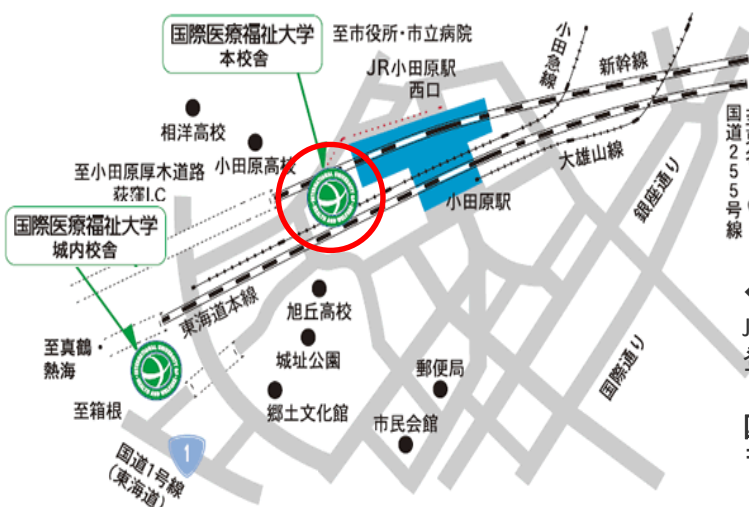
FAX : 045-878-4892



作業療法士の方は生涯教育ポイント(1ポイント)が付きます。
以下の内容をご入力の上、1人1件ずつお申し込みください。

申し込み	ご所属(職場名・職種・専攻名)	
	ご氏名(ふりがな)	メールアドレス
	電話	FAX
	ご住所	交流会について 参加 ・ 不参加

研修会場アクセス



公共交通機関でお越し下さい。
会場には駐車場がございません。
近隣のパーキングをご利用ください。

◆小田原保健医療学部
JR東海道線・東海道新幹線・小田急線・大雄山線・箱根登山鉄道「小田原」駅(西口)より徒歩3分

国際医療福祉大学小田原保健医療学部
〒250-8588 神奈川県小田原市城山1-2-25(本校舎)